

平成27年度 学校自己評価システムシート

(埼玉県立熊谷女子高等学校)

目指す学校像	1 自主自律の精神と豊かな人格を有し、21世紀の社会をリードする心身ともに健康な生徒を育成する。 2 地域に信頼される進学校として、生徒の第一志望の進路を実現させる。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------

重点目標	1 豊かな人間性と社会性を育む教育を展開し、高い志を持った次代を担う女性を育成する。 2 SSHやリーダー育成・進学指導重点推進校の取組を活かし、質の高い授業を行い、学力を向上させる。 3 きめ細かな進路指導や学習指導を充実し、生徒一人一人の第一志望の進路を実現させる。 4 伝統ある本校の生徒としてふさわしい生活習慣を身に付けた、自らを律し行動できる生徒を育成することにより、地域に信頼される学校づくりを行う。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割以下)

出席者
学校関係者 8名
生徒 3名

学校自己評価							
平成27年度目標			平成27年度評価(2月19日現在)				
割合	現状と課題	評価項目	具体的な方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度の課題と改善策
1	◇進学校であるが、勉強だけでなく部活動や委員会活動、生徒会活動、学校行事に積極的に取り組む意欲の高い生徒が多い。また、地域の高齢者施設や小学校、保育所等を訪問し福祉活動や児童支援を行ったり、ニューランド姉妹校との交流事業を行ったりもしている。教育活動全般を通じて、社会に貢献できる人間としての高い志や使命感を育成する必要がある。	豊かな人間性と高い志を持った生徒の育成	①生徒が主体的に部活動や学校行事、委員会活動等を行えるようにする。 ②地域の高齢者施設や小学校、保育所等で福祉活動や児童支援等を行う。	①生徒が主体的に部活動や学校行事、委員会活動等を行うことができたか。 ②生徒が昨年度と同数程度以上、地域の施設や学校等を訪問できたか。	①10月のアンケート調査で「頑張ったと思うこと」が、1・2年の順で勉強29.5・20.6%部活動47.4・57.7%,行事・委員会3.6・5.8%だった。 ②地域の福祉施設や保育所等におけるボランティア活動に、2年希望者が昨年に引き続き160名以上参加(7~9月)。また、熊谷東小児童への学習・部活動支援をラクロス・水泳・アマゾン部が計5回実施。延べ150名(H26は120名)以上の生徒が参加(7~9月)	A	・生徒会や委員会活動は、仕事を確実にこなしていくことが要求される。終わったことで満足するのではなく、問題点や課題を深く考えさせる総括や反省の時間をしっかりとっていく。
2	◇SSHは4年目となり、大学や研究機関、県内外の高校との連携も順調に推移している。一方、文科省による中間評価を踏まえ、スーパーサイエンスクラブ(SSC)活動や授業・カリキュラムの改善、2期目申請の検討等を行う必要がある。また、SSHやリーダー育成・進学指導重点推進事業等を活用して、思考力・表現力等の向上のための研究・対策や授業改善を組織的に進めていく必要がある。	SSHの取組の拡充と改善	①北関東SSH女子高校6校連携事業の拡充を行う。 ②SSC活動や授業・カリキュラムの改善、SSH2期目申請の検討等を行う。	①6校連携事業の実施数、連携機関数等が拡充したか。 ②検討内容や生徒アンケート等の結果がどのように進展・改善したか。	①連携機関は、H26お茶大 H27お茶大・京都大・日立製作所で、事業実施数は4つ(H26:2つ)になり拡充した。 ②企画委員会、各教科で話し合いを進め、SSH2期目の申請を行うこととした。	A	・SSHの申請に合わせて、カリキュラムをどのように編成していくか課題である。
		思考力や表現力等の向上を目指した授業研究・改善	①授業力向上のための研究や取組を教科、分掌、委員会等で行う。 ②他校や外部機関と連携し、教科力向上研修会や英語研究会等を行い、授業研究・改善を進める。	①新たな研究や取組を実施できたか。 ②授業アンケート等の結果より、授業力が向上したか。	①アクティブラーニング研修会、学び合い研究授業、ELEC出前研修(4回)を新規に実施。 ②生徒の学習意欲は全学年で1.3~3.2ポイントアップ。教師の説明のわかりやすさも7.6~8.8ポイント大きくアップした。	A	・アクティブラーニング的な視点を持ち、思考力・表現力等を高める授業方法を継続的に研究することが課題。
3	◇様々な進路行事や生徒との面談などをとおして、女子高校のニーズに合わせたきめ細かい進路指導を行っている。生徒一人一人の第一志望の進路を実現するため、3年間を見通し、分掌・学年・教科・委員会が連携して組織的・効果的に取り組む必要がある。	進路情報の提供と進学実績の向上	①各進路行事や広報誌の発行等により、教職員の情報共有と生徒・保護者への情報提供を推進する。 ②3年間を見通した進路指導の研究や取組を分掌、学年、委員会等で行う。 ③進路データ、適性等を踏まえたきめ細かい指導や補習を実施し、センター試験の平均点を向上させる。	①十分な情報提供ができ、生徒第一志望の進路を実現できたか、アンケートや評議員会・懇話会の意見等から判断する。 ②進路指導目標の実現に向け十分な研究・取組ができたか。 ③合格実績目標値(現役) 国公立大学70名・早慶上理ICU40名・G-MARCH100名以上 ④2015センター試験結果と比べ向上したか。	①「進路室から」の発行やHPへ行事の掲載を行うなど、教職員の情報共有と生徒・保護者への情報提供を行った。 ②朝学習や面談、集会等で進路意識の啓発を図った。 ③卒業生の進路実績のデータ化を行い、今年度の進路指導に活用した。 ④模試分析会、志望校検討会は予定通り実施し、進路指導に活かした。 ⑤③現役大学合格者数は、国公立48名・早慶上理ICU13名・G-MARCH71名(3/31現在) ⑥センター試験5教科平均は、2015に比べて文系29点、理系33点アップした。	A	・卒業生のデータ活用を他学年の面談や教科指導にも使えるようなものにする。他校の方法も参考にして改善していく。 ・基礎力の確立の重要性を認識させ、その上で応用力の充実を促すような工夫が必要である。
4	◇歴史と伝統のある熊女の生徒として、高い品格を身に付け、自らを律した行動ができるように生徒指導を展開している。全教職員の共通理解のもと、生活指導や心のケア等の対応の充実を図る必要がある。 ◇本校ホームページは、毎月50回程度の更新を行い、学校行事や部活動他、最新の情報発信に努めている。引き続き、広報活動を充実させる。	全教職員協力による生徒指導、心のケア等の充実	①全教職員による挨拶・身だしなみ・登校・完全下校指導を行う。 ②関係機関と連携・協力を行うとともに校内支援委員会を定期的実施し、生徒情報の共有と適切な指導を行う。	①全教職員による組織的な生活指導に取り組めたか。 ②個々の生徒に対し教職員の共通理解が図られ、様々な生徒の対応に取り組めたか。	①生徒指導部と学年の連携による登校時の挨拶・身だしなみ指導を42日間延べ教員182名が行い、生活委員の生徒も延べ236名参加(4~1月)。今年度より新たに保護者も延べ20名参加した。 ②相談部・学年等が連携し支援委員会を行い、対応策を検討するとともに、生徒情報を全職員で共有した。長期不登校生徒はいない。	A	・生徒の心のケアを充実させるには、保護者や外部専門機関との連携が重要である。地域の社会資源を把握し、活用していきたい。
		広報活動の充実	①引き続きホームページの更新を毎月50回程度、行えるようにする。 ②学校説明会・見学会の内容を充実させる。	①ホームページの更新を昨年度と同数程度以上、行う。 ②学校説明会や説明会等の参加者が昨年度と同数程度以上か。	①ホームページ数は約2000(H26:1200)回/日に増加した(4~1月)した。 ②学校説明会・見学会を6回(H26は7回)実施し参加者は1956名。1回あたりで比べると326名(H26:279名)と増加した。	A	・中学校訪問の効果を高めること、説明会等での内容の工夫とプレゼン力の向上が課題。

学校関係者評価
実施日 平成28年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等
・"三張る"を行う過程が大切で、将来必ず役に立つときがある。 ・弱みを改善するという考えだけでなく、熊女の良さを堅持し、強みを活かしていつてほしい。 ・熊谷東小学校への支援の取組は、大変素晴らしい。同窓会もサポートしたい。 ・富士見中学校など近隣中学を含め、地域連携を進めてほしい。 ・ラグビーWC開催にあたり、日本の文化等を紹介する際に生徒の協力を期待したい。 ・4年目になってSSHの成果が目に見える形で現れている。2期目は申請の倍率が高いようだが、採択されるよう努力してほしい。 ・6校連携事業は、全国的にも注目されているようなので、もっとアピールした方がよい。 ・本日見学した授業はどれも工夫されていて、生徒との一体感があつた。授業研究・改善が進んでいると感じた。 ・よい授業を行うために、生徒の授業アンケートを継続してほしい。 ・当初の志を維持させ、一般受験に挑戦させることが大切である。 ・受験指導を行うにあたり、指定校の紹介メールやWEB申請の指導をしてほしい。 ・センター試験の平均点がかつりアップしている。素晴らしいことなので、来年度以降も結果を出せるように、指導を継続してほしい。 ・成功体験だけでなく、例えば反省・失敗談も含んだ浪人生の体験談を聞きたい。 ・遅刻または早退する生徒が1人で登下校するとき、安全に配慮してほしい。 ・PTAとして今後も挨拶・身だしなみ指導に協力していきたい。 ・ホームページがよく更新されている。情報発信を継続してほしい。 ・負担感が強ければ、ホームページの制作を業者に依頼することも一案である。

